

お客さまに、生命保険の魔法の力を。

そのお客様は、まだ生命保険の真の力をご存知ありません。
なぜなら、私たちライフプランナー®に出会ってないからです。
私たちにしかできない役割 ——
それは大切な人のために、魔法の力を伝え続けることです。

人々を助けるという生命保険の魔法の力、
それには必ずや使命があるのです。

※「ライフプランナー」は、ザ・プルデンシャル・インシュアランス・カンパニー・オブ・アメリカの登録商標です。

プルデンシャル生命保険株式会社

東京都千代田区永田町2-13-10 プルデンシャルタワー
市場開発チーム TEL 03-5501-5070



日本M&Aセンター M&A Vol.28 2012.5.20

発行所/株式会社日本M&Aセンター 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内M&Aセンター本館19階 TEL:03-6220-6454 (代) FAX:03-6220-5455
発行人/分林 保弘 編集人/飯野 一宏

M&A

日本M&Aセンター

Vol.
28
2012.5.20

日本初の 医療・介護M&A実例集、発刊!



八重洲ブックセンター 医療・介護・福祉書ランキング
第2位!

日本M&Aセンターグループ スイス国際会議

スイス・チューリッヒ国際会議、過去最高の230名が参加

成功事例ファイル22

株式会社エスカルラボラトリーズ&クオール株式会社

年間成約件数、過去最高の194件!

<http://www.nihon-ma.co.jp/>

病医院・介護施設に関する書籍を出版！

～2012年4月27日発売の新作です～

日本初の医療介護M&Aの実例集！

八重洲ブックセンター 医療・介護・福祉書ランキング 第2位！（2012年4月第4週）

当社が医療・介護専門チームを設置して5年余り。その実績をもとに医療機関・介護施設のM&Aについて、具体的な事例を多数紹介して成功のためのノウハウを解説しています。後継者不在に悩む医療関係者や介護事業者に、M&Aという手法の魅力を伝えます。



- 著者 医療介護支援室長 分林 功
- 執筆協力 医療介護支援室次長 谷口 慎太郎
- 監修 代表取締役会長 分林 保弘
- 出版社 株式会社日本医療企画
- 体裁 A5判／196頁
- 定価 本体1,575円
- 発売日 2012年4月27日

【Contents】

- 序章 病院こそM&Aを活用しよう
- 第1章 病院M&Aの特異性について
- 第2章 病院・診療所のM&Aの事例
 - 事例1 地域の医療拠点を守りたい
 - 事例2 子供の将来を考えて…
 - 事例3 院内医師への承継は困難
 - 事例4 医療と経営の分離
 - 事例5 実質のトップの経営者は誰？
 - 事例6 サービサーの活用で再生
 - 事例7 債務カットにより自力再生を目指す
 - 事例8 譲渡のタイミングを逃してしまい…
 - 事例9 自身の健康問題と後継者不在
 - 事例10 独身理事長が急逝したら…
 - 事例11 激務理事長の健康不安
- 第3章 介護施設のM&A事例
 - 事例1 事業展開の意欲を引き継ぎたい
 - 事例2 新設分割で円滑な譲渡を実現
 - 事例3 赤字部門の事業譲渡
 - 事例4 訪問介護会社の株式譲渡
 - 事例5 訪問看護・デイサービスの株式譲渡
- 第4章 病院M&Aの実務手順
- 第5章 M&A成功のためのチェックポイント

【出版記念】記者発表会

4月26日、発売に先がけて書籍出版に関する記者発表会を開催し、多くの記者にお集まりいただきました。当日は医療介護支援室長の分林功より、書籍の中から2つの事例を紹介し、ご理解を深めていただきました。

今後とも医療介護M&Aの普及に努めてまいります。そのため、「医療M&Aセミナー」を全国8ヶ所で開催します(概要は次ページ)。



事例発表の様子(本社セミナールーム)

出版記念 医療M&Aセミナー開催

セミナー概要

	日程	会場
東京	6月27日(水)	日本M&Aセンター東京本社 セミナールーム
大阪	7月18日(水)	梅田阪急ビルオフィスタワー 26階会議室
名古屋	7月19日(木)	ウインクあいち 1108号室
札幌	6月21日(木)	札幌グランドホテル 「新緑の間」
仙台	6月28日(木)	仙台国際ホテル 「桜」
新潟	6月19日(火)	朱鷺メッセ 303号室
広島	7月11日(水)	ホテルJALシティ広島 「シリウス」
福岡	7月10日(火)	ANAクラウンプラザホテル福岡 「コーラル」

※開催時間は14:00～16:30(受付開始13:30)

●詳細・お申込はこちらから●

<http://www.nihon-ma.co.jp/seminar/> **0120-03-4150**

日本M&Aセンターグループ スイス国際会議

～230名の会計人が参加～



昨年は東日本大震災で中止となったため、2年ぶりの開催となりました。今回はスイス・チューリッヒでの開催で、UBS銀行による欧州M&Aについての解説や、スイス在住コンサルタント鈴木桂様より本場スイスの資産保全、ファミリーオフィスについての紹介などが中心となりました。来年も多くの方のご参加をお待ちしております。



UBS銀行
コーポレート・アドバイザー・グループ
欧州ヘッド Dorothee Deuring 氏



会議の様子



パネルディスカッション

※なお国際会議の詳細レポートは当社ウェブサイトでもご覧いただけます。
http://www.nihon-ma.co.jp/network/international_2012.html

M & A 成功ファイル 22

～ 後継者問題解決・今後の成長のための M & A ～

2012年1月、当社がお手伝いしてM & Aを実行された2社の代表・渡辺様(エスカル社)と中村様(クオール社)をお迎えし、M & Aを決意された理由や当時の心境などをお聞きしました。

譲渡企業
株式会社エスカルラボトリーズ
所在地：埼玉県北本市
業務内容：食品CRO
売上高：約2.5億円(当時)
従業員数：15名

譲受企業
クオール株式会社 (東証二部：3034)
所在地：東京都港区
業務内容：調剤薬局
売上高：609億円(2011/3期、連結)
従業員数：約1,800名(2011/3期、連結)

株式譲渡契約調印式にて(2012年1月)



クオール株式会社
代表取締役社長
中村 勝 様

株式会社エスカルラボトリーズ
代表取締役
渡辺 国信 様

※職称は当時のもの

一渡辺様、エスカル社のご紹介と、M & Aを検討した経緯をお教えてください。

渡辺 エスカルは、食品CROの会社です。特定保健用食品(特保)の申請目的や機能性食品のエビデンス検証を目的的食品に関するヒト臨床試験を支援します。試験計画作成から被験者確保、試験経過管理、統計解析、報告書提出までトータルでサポートします。

十数年前に起業した当時、食品CROは、5社程度しかありませんでしたが、現在では大学のベンチャービジネスをはじめとする異業種からの参入も多く、100社が競合しております。そのような業界で、受託した仕事は結果にこだわり、労を惜しまず徹底的にサポートを遂行するポリシーで続けてきた結果、業界内で確固たる地位を築くことができました。

会社としては順調に成長している中でのM & Aを決意した理由は2つあります。

1つ目は、「後継者問題」です。創業者である私が62歳になり、私に万が一のことが起こった場合、会社はどうなるだろうと考えました。従業員もいる私を信頼し、業務を委託されたクライアントに迷惑をかけるわけにはいかず、会社を存続・継続させなければなりません。まず義理の息子への承継を考えましたが、まだ若く経験も浅いため、親族への承継はあきらめました。次に、役員に継がせることも考えましたが、株式の買い取りや個人保証の問題や社長業の大変さなど、承継は現実

的には難しく、断念しました。そんなときにM & Aという選択肢があることを知りましたが、小さい企業ですしM & Aの対象になるのだろうかと不安でした。数年前の新聞に掲載された会社継承の記事を思い出し、日本M & Aセンターに相談しました。いろいろ話を聞いていくうちに、M & Aによる承継が十分可能だということがわかり、前向きに考え始めました。

2つ目は、エスカルが受託する仕事の量が多くなってきて、事業体制を強化しなくてはならないと感じていたことです。仕事量が増えすぎて、現体制では対応できなくなりつつあると考えていたところでした。10数名の従業員では業務対応が困難で、さまざまな方法で人材確保を試みましたが、増加する仕事に対してスピードが追いつきません。体制を強化してくれる会社と提携して、事業インフラを強化したいと考えたことが、M & Aを決意したもうひとつの理由です。

一中村様、クオール社のご紹介と、エスカル社との資本提携に至った経緯を教えてください。

中村 クオールは、1992年の会社設立以来、「真実と誠実をもって」を企業理念に掲げ、保険薬局経営を中核に企業活動を行って参りました。地域社会の健康を担う一員として、地域の一人ひとりへ健康で快適な環境を提供することこそが使命と考えております。

日本M & Aセンターから、エスカルラボトリーズ様のお話を伺い、その場ですぐには是非取り組みたい、一緒に拡大させたい事業だと思いました。当社グループに参画して頂くことで、地

域社会に、より上質なQOL(クオリティ・オブ・ライフ)をお届けすることができます。「食」と「医薬」は、地域社会の健康にとって、切っても切れない関係があります。フェーズオンという子会社で医薬品のSMOはすでに取り組んでおりましたので、相乗効果も期待できると考えました。ただの利益云々だけではなく、地域社会への貢献のためにも取り組むべきお話だと直感致しました。

一渡辺様、クオール社との資本提携を決意された理由をお教えてください。

渡辺 M & Aの相手を選ぶ際、どこでもいいというわけではありませんでした。エスカルはニッチな事業内容でかつ独自の考え方で経営してきたので、事業内容や運営の難しさを理解してくれ、更に伸ばしてくれるような相手を望んでいました。クオール様を紹介してもらい理念や方向性を伺い、クオール様との提携であれば、グループ内でのエスカルの存在意義を見出してもらい、将来性のある形で承継することができると思い決意しました。

一現状はいかがですか？

渡辺 M & Aをするのは少し早いかもしれないと考えて

当社ホームページでは、これまでのM & A成功事例を他にも紹介しております。ぜひご覧ください。
→ <http://www.nihon-ma.co.jp>

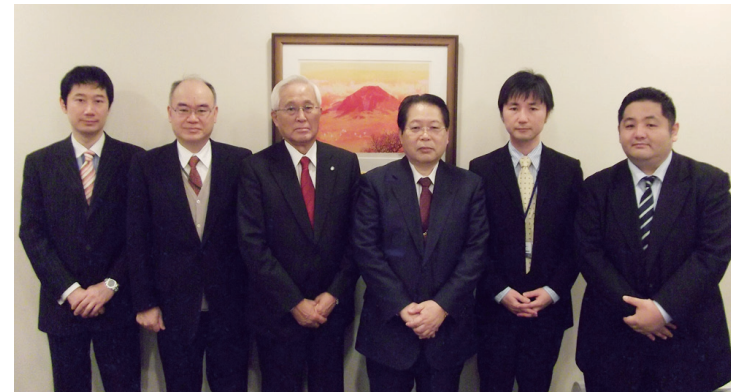
いましたが、結果的にはいい形で会社を承継することができ、経営者として最後の任務をやり遂げた思いです。多くの中小企業経営者同様、休みらしい休み無しで走り続けてきましたので、初めてゆとりのあるライフスタイルになりました。業務をサポートしてくれた妻には、海外旅行に行きリフレッシュしてもらいました。
今後これまでの経験を活かして「健康」をキーワードに微力ながら社会に貢献できるよう、ガーデニングをしながら構想を練っています。

中村 社員の皆さんと一丸となって非常に良い雰囲気です。エスカル社の経営課題である人員補強についても着々と進んでおります。採用強化のため、本社を埼玉県内の主要拠点である大宮駅前に移転いたしました。

その他、クオールの様々な経営資源を活用して、全社一丸となって新しい取組みを始めています。社外からエスカル社に合う経営者を招聘できたことも良い結果となっております。また、お客様である食品メーカー様からは、クオールの流通経路(調剤薬局店舗、ローソンとの併設店舗)の活用を見込んだ依頼も増えてきております。

今回のM & Aは当社にとって非常に有意義なお話であり、今後も「食」を通じて地域社会に貢献できるような企業様と手を携えていきたいと強く願っております。

M & A 調印式にて



クオール社
代表取締役社長
中村 勝 様

エスカル社
代表取締役
渡辺 国信 様

クオール社
専務取締役
荒木 進 様

クオール社
関連会社統括部 部長
緒方 伸一 様

クオール社
執行役員
山岸 匠 様

※職称は当時のもの

クオール社
関連会社統括部 主任
林 隆祐 様

私が仲介しました！
～担当者声～



今回のM & Aは、エスカル社にとっては事業承継問題をクリアし、かつ企業として更なる成長・発展につながる、とても有効なM & Aでした。クオール社にとっても「食」と「医薬」というコンセプトにマッチした意義のある取り組みとなりました。

両社ともに満足いただけるM & Aを実現でき、とても嬉しく思っております。今後の両社の益々のご発展を祈念しております。

株式会社日本M & Aセンター
事業法人部 吉丸 彰一郎
(よしまる しょういちろう)

年間成約件数、過去最高の 194 件！

M&A deals closed

2011年度は、194件(譲渡・譲受け別カウント)と年間での過去最高件数(対前年度比24.4%増)となる成約のお手伝いことができました。下記に、第4四半期(2012年1～3月)の27組52件をご紹介します。

	譲渡企業		譲受け企業		取引スキーム
	事業内容	所在地	事業内容	所在地	
1	自動車部品小売	東海・北陸	リサイクル	東海・北陸	株式譲渡
2	食品検査	関東	調剤薬局	関東	株式譲渡
3	不動産関連	関西	建設	関西	株式譲渡
4	自動車用品小売	関西	自動車用品小売	関東	株式譲渡
5	造花企画卸	中国・四国	花芸商社	関西	株式譲渡
6	ソフトウェア受託開発	関東	生産受託	東海・北陸	株式譲渡
7	清掃サービス	関東	リース	関東	株式交換
8	調剤薬局	関東	調剤薬局	関東	事業譲渡
9	食品卸	関東	業務用食品卸	関西	株式譲渡
10	食品卸	関東	業務用食品卸	関西	株式譲渡
11	精密部品検査	関西	精密機器販売	関東	株式譲渡
12	清掃サービス	関東	ビルメンテナンス	関東	株式譲渡
13	外食サービス	甲信越	清酒製造	関東	会社分割
14	自動車整備	甲信越	自動車整備	甲信越	株式譲渡
15	自動車整備	関東	自動車整備	東海・北陸	株式譲渡
16	食品スーパー	北海道・東北	食品スーパー	北海道・東北	株式移転
17	人材派遣	関東	広告	中国・四国	株式譲渡
18	包装資材卸	関西	食品包装資材卸	関東	株式譲渡
19	運送	中国・四国	運送	中国・四国	株式譲渡
20	不動産賃貸	関東	不動産関連	関東	株式譲渡
21	自動車部品製造	中国・四国	自動車部品製造	東海・北陸	株式譲渡
22	広告企画	関西	印刷	東海・北陸	株式譲渡
23	食品製造	九州・沖縄	食品製造	関西	株式譲渡
24	精密部品製造	関東	電子部品製造	関西	株式譲渡
25	調剤薬局	関東	調剤薬局	北海道・東北	株式譲渡
26	介護	関西	調剤薬局、介護	東海・北陸	株式譲渡
27	食品製造	九州・沖縄	食品卸	九州・沖縄	事業譲渡

日本M & A センターでの出向を終えて

銀行より当社に出向されていた2名の方が、出向期間を終了されました。今後のご活躍を祈念するとともに、ご紹介いたします。



花澤 理人
(はなざわ まさと)
出向元：福井銀行

強く印象に残っているのは、ふだん寡黙な社長が、初めてのトップ面談で、譲渡を決断した経緯を相手社長に語り始めたときのこと。M & Aの現場は、経営者の積年の想いが伝わる場だと実感した瞬間でした。今回の貴重な経験を活かし、地元のお取引先の悩み、想いに応えられるよう日々、努力していきたいと思えます。日本M & Aセンターの皆様はじめ、お会いしたすべての方々に感謝しております。



片山 佳祐
(かたやま けいすけ)
出向元：静岡銀行

1年間の出向期間で、多くの案件に携わらせていただきました。その中で、M & A業務は企業の存続と発展に貢献する大変有意義な業務であることを実感しました。地方の中堅・中小企業の身近な存在である地域金融機関の一員として、今後もM & A業務を通じて地域経済に貢献していきたいと思っております。

お知らせ

Information

「経営者様向けM & A セミナー」各種開催のご案内

■ 経営者のためのM & A セミナー

2012年6～7月、全国6会場で経営者のためのM & A セミナーを開催します。奮ってご参加ください！！

	東京	大阪	名古屋	札幌	広島	福岡
日程	7月 3日(火)	6月12日(火)	6月14日(木)	6月 7日(木)	7月 5日(木)	6月 5日(火)
時 間	13:30～16:40(受付13:00～)					13:00～16:10 (受付12:30～)
第一部	会社を強くする 経営戦略の作り方とは？			企業の存続と発展を実現させる M & A とは？		
	 ●M&Aにより「会社」「社員」「社長」がハッピーになる方法とは？ ●これからの会社経営、「5つの法則」とは？ 〔講師〕株式会社日本M & A センター 代表取締役会長 分林 保弘			〔講師〕弊社取締役 大槻 昌彦 〔講師〕弊社取締役 大山 敬義		
第二部	M & A 体験発表／ 成功するM & A の進め方					
	 ●なぜ譲渡を決断したのか？ ●M&Aを進めながら思ったこと ●M&A後、従業員・取引先の反応は？ 〔講師〕株式会社ウスタ製作所 前社長 白田 憲司郎 様			 ●「後継者問題」「先行き不安」をM&Aで解決した事例を紹介 ●本には載っていない「成功の秘訣」と「リスクの回避方法」を公開 〔講師〕株式会社日本M & A センター 代表取締役社長 三宅 卓		

●詳細・お申込はこちら●

<http://www.nihon-ma.co.jp/seminar/> **0120-03-4150**

M & A 案件・事例は、日本M & A センターのホームページをご覧ください

1000件を超える案件情報はこちらで ⇒ <http://www.nihon-ma.co.jp/anken/>

譲渡希望情報・買収希望情報の一部を、下記のような形式でご紹介しております。
ご希望に合致する案件がございましたら、お電話にて案件番号をお伝えください。
また掲載登録をご希望の方は、専用の登録シートのFAXまたはホームページからご登録ください。

＜買収希望情報の一例＞

登録No.	希望業種	希望エリア	希望サイズ (年商)	備考
472	電気工事	全国	不問	地方に拠点を持つ企業を希望

※上記以外にも多くのニーズが登録されておりますので、ぜひご覧ください。

＜案件に関するお問い合わせ＞

掲載案件に関するお問い合わせは、お電話にて案件番号をお伝えください。
登録・掲載についても下記お電話にて承ります。

0120-03-4150

＜編集後記＞

このたび、医療と介護に特化したM & A 事例集を上梓いたしました。医療や介護は成長分野と呼ばれる一方で、他業界と同様に深刻な後継者難に見舞われています。また医療法人に関しては主体の多様さや不動産の取扱など、ベテランの医療M & A 専門家が求められます。当社では医療介護支援室を5年以上前に設置しており、成果を紹介しております。ぜひご覧ください。(と)

発行所：株式会社日本M & A センター（証券コード：2127）
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館19階
TEL.03-5220-5454(代) / FAX.03-5220-5455
<http://www.nihon-ma.co.jp/>

発行人：分林 保弘
編集人：飯野 一宏